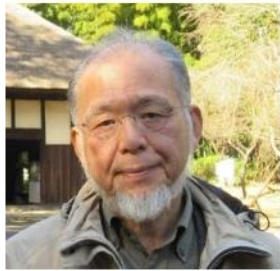


講座名	<b>New ! 鰻と鯰－民間信仰の深層－</b>	
講師名	佐野 賢治 (神奈川大学名誉教授)	
講義日時	第1、第3金曜 13時～14時30分	
	①11/1    ②11/15	
受講料	2,640円(2回分)	
講座内容	<p>土用の丑の日が近づくとウナギの蒲焼のにおいが漂う。『万葉集』にも滋養のある食物と詠われる。一方、鰻を捕食したら村八分に処すと明文化した村もあり、現在でも丑・寅年人は、守り本尊・虚空蔵菩薩に関係して食べない人がいる。「鰻の道」、神話から、その背景に日本人の起源を探る。</p> <p>江戸時代、安政2年の大地震は神無月、鹿島の神が出雲に出かけた留守を狙い、「要石」で頭を押さえられていた地震鯰が解放され大暴れしたのに起因すると云う。その直後、破壊者・救済者の両様に描かれた「鯰絵」が江戸市中に大量に出回った。「鯰絵」を通して、江戸庶民のメシア待望、両義的な深層心理を読み解く。</p>	